

留学期間中の資金計画

海外留学の目的を十分に達成するためには、学業・研究面の周到な計画と同様に、資金面での現実的な計画をたてておくことが欠かせません。

渡航先国の生活物価や、選択する大学の授業料の水準、留学期間などによっては、当会からの奨学支援だけでは、全ての費用をカバーできないこともありますので、この場合、追加の資金調達手段の可能性等について、各位、あらかじめ検討されることが必要になるものと考えられます。

前記の趣旨により、あなたの、留学期間中の資金計画の概略について、以下にお聞かせください。

記入する金額については、現在わかる範囲での概数ということで結構です。

また、ご記入いただく資金計画の内容が、直接、選考の合否判定に関わることはありません。

留学希望先(大学等)の候補を複数挙げられた場合は、第一希望への留学を想定してご記入ください。

〔留学先大学・研究機関〕 清華大学 〔国〕 中華人民共和国 〔都市〕 北京

応募者氏名 平松 信義

〔1〕生活費・住宅費 (単位:万円)

収支項目		1年目	2年目	合計①	3年目 (博士課程)	合計②
収入	生活滞在費補助	240	240	480	240	720
	合計	240	240	480	240	720
支出	生活費(衣・食・光熱費等)概算	128	128	256	148	404
	住宅費概算	90	90	180	90	270
	合計	218	218	436	238	674

〔2〕授業料等

収入	学校納付金補助(当会より) ^(※)	125	125	250	-	250
支出	授業料等概算	54	54	108	65	173

(※) 当会、学校納付金補助は、留学期間中合計250万円です。上表では簡便のため当初2年間各125万円としました。

(試算のための為替換算レート) ##### = 110円

1 € = 120円

その他: 試算時の直近レート 〔通貨〕 中国人民元

〔使用レート〕 1中国人民元= 17円

(1) 上記で、支出が収入(当会からの支援金額)を上回る場合、不足分の調達手段として、どのような方法を予定していますか。〔複数チェック可〕

- ☐ 留学先大学等による学費免除、学費補助
☐ 留学先大学等の奨学金、生活費補助
☐ TA(Teaching Assistant)、RA(Research Assistant)
☐ Research Fellowship
☐ 留学開始時点での準備資金(預貯金等)を充てる
☐ その他()

(2) 当会の支援期間(最長3年)を超えての留学を計画されている場合、4年目以降の資金調達について、どのような方法を予定していますか。(自由回答)

①TA(Teaching Assistant)、RA(Research Assistant)を受給する。

②中国政府奨学金(博士課程)に応募する。

※ご記入いただいた情報は当奨学金選考以外の目的には使用致しません。